

吉岡交流会

吉岡和太鼓クラブで慰問活動を行いました。

吉岡和太鼓クラブはコミュニティ助成事業で整備した太鼓を活用し、施設を慰問しています。ご依頼があればお伺いしますので、どうぞお気軽にお声をかけてください。

●問い合わせ先 TEL 72-2548(矢岡)



唐原子供神楽

保育所の夏祭りに参加しました。

夏真っ盛りの7月28日(土)、大平保育所の夏祭りに参加させて頂きました。

演目は今回だけの特別バージョン、幣方4人・鬼4人の「大乱御先」です。鬼さんの姿も、夏仕様のノースリーブバージョンで舞いました。

しかし、これだけの人数になると息を合わせるのはさすがに難しいですね…。その名の通り、大乱れとなりました。それでも子どもたちは暑さに負けず、一生懸命頑張りました。

保育所の保護者会の皆さま、先生方、園児の皆さん、ありがとうございました。

●問い合わせ先 TEL 090-9601-3912(宮本)



吉岡巨石塚保全グループ

吉岡巨石塚が見学しやすくなりました。

これまで吉岡巨石塚は、大きな民家の奥にあり、道路、周囲から見えにくい状態でしたが、空家の解体などにより、見学者が立ち寄りやすい広場になりました。巨石塚は古墳時代後期に建築されたものと考えられる古墳の埋葬施設で、古墳の盛上が失われ、横穴式石室の石組みのみが残されています。ぜひお立寄りください。

●問い合わせ先 TEL 72-3248(矢岡)



宇島鉄道研究会

鉄道模型展示会を開催しました。

8月24日(金)から26日(日)までの3日間、豊前市立図書館にて図書館イベントとして鉄道模型の展示・工作教室・走行会を開催しました。

内容は

- ①鉄道模型作家菊地俊夫氏の模型作品の展示
- ②作品を含めた模型の走行
- ③小学生を対象にした模型工作教室です。

会場では、菊地氏が小学生の頃から50年間以上に渡って設計し、1枚の真鍮や紙の板から切り出して作成した70両以上の精密で貴重な模型が展示され、走行しました。さらにこの展示会のために作成した、ご当地の宇島駅の模型も展示しました。

この展示会開催において主催は、豊前市図書館、協賛は宇島鉄道研究会で工作教室は菊地氏が指導を行いました。また工作技術指導は県内遠方より駆けつけていただいた筑紫トレインモデルクラブの方々に担当いただきました。

この京築地方での鉄道模型の展示走行は珍しく、親子連れやご年配の方など3日間で、延べ350名の来場をいただき、なんと3日間皆勤のお子様もいらっしゃいました。特に人気があったのは、走行音を出しながら線路を走る

列車と宇島駅の模型でした。

模型工作教室は、小学生を対象に開催。募集は定員20名を超える申込みを戴きましたが、ご希望にお答えできなかったお子様・保護者の方、誠に申し訳ありませんでした。13時から工作を開始して、16時頃には幅16.5mmの線路で連結して走らせることができました。走行する自分が作った車両を追っかけて目をキラキラさせている子どもを見てお母さん・お父さんが喜んでいる姿もありました。子ども以上に熱心なお父さんの姿もありました。

また、元国鉄の運転士の方も見えていて精密な模型、走行音や汽笛の音に関心しておられました。またいつかどこかでこのようなイベントができたと思います。

今回のイベントにおいて模型の制作や工作教室などを行っていただいた菊地俊夫氏は豊前市の出身で、鉄道模型趣味誌(TMS)を手始めに、その後もTMS、RMMODELS、とれいんに延べ21本製作記事が掲載。また映画「僕たち急行A列車で行こう」の一場面に西鉄の模型が採用され走行。2009年1月4日放送のNHK「林家いっ平のテツタビ #スペシャル」にも筑紫トレインモデルクラブとして出演するなど幅広く活躍されています。

●問い合わせ先 TEL 090-1085-5605(奥田)

